

償還日 (2016年5月25日)	
償還価額	4,183円67銭
純資産総額	560百万円
騰落率	△28.0%
分配金	0円

ニッセイ コモディティファンド

追加型投信／内外／その他資産（商品）


交付運用報告書

償還

作成対象期間：2015年5月26日～2016年5月25日

第10期（償還日 2016年5月25日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページ「投資信託を探す」の「投資信託償還商品のご案内」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者の皆様へ

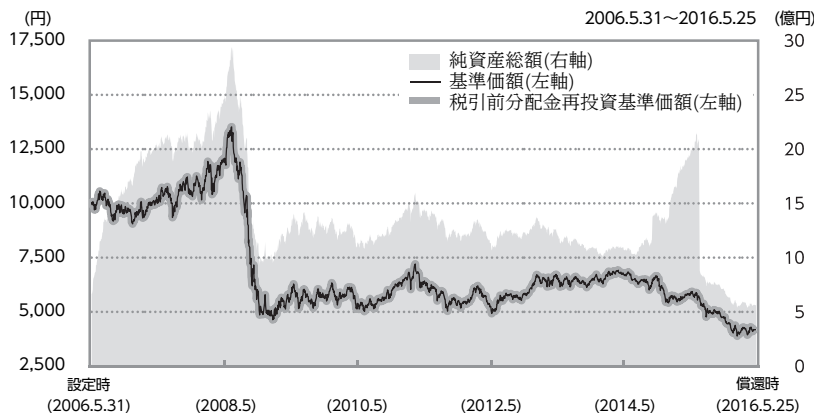
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイコモディティファンド」は、2016年5月25日に償還させていただきました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきまして、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

設定来の基準価額等の推移



設定時	10,000円
償還時	4,183円67銭
既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	△58.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

【2006年～2009年】

当運用期間の基準価額は、上昇した後、大幅に下落しました。

2007年8月中旬以降、米国のサブプライムローン(信用力の低い個人向け住宅ローン)問題による金融不安や、同国の景気減速懸念の高まりから世界的に株式市場が急落したことを受けて商品市場に資金が流入し上昇したことから、基準価額は上昇しました。その後、米大手金融機関の破たんなどを背景とした世界的な金融市場の混乱から、商品市場に流れ込んでいた資金が流出し同市場が下落したことから、基準価額は大幅に下落しました。

【2009年～2014年】

当運用期間の基準価額は、上昇した後、緩やかに下落しました。

新興国における旺盛な需要などを背景とした商品市場の上昇を受け、基準価額は上昇しました。その後、ギリシャの財政問題に端を発した欧州信用不安等により商品市場が下落したことを受けて、基準価額は下落しました。

【2014年～償還日】

当運用期間の基準価額は、下落しました。

石油輸出国機構(OPEC)加盟国による減産見送りや米国の原油産出量拡大を受けた原油供給量の増加に加え、中国の景気減速懸念の高まりなどを背景とした世界的な原油需要鈍化観測から、原油の需給悪化が懸念されました。その結果、商品市場は下落し、基準価額も下落する展開となりました。

このたびは長らくのご投資誠にありがとうございました。

今後とも、ニッセイアセットマネジメントの商品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ニッセイコモディティファンド

1 万口当たりの費用明細

項目	第10期		項目の概要
	2015年5月26日~2016年5月25日		
	金額	比率	
信託報酬	62円	1.296%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は4,771円です。
(投信会社)	(26)	(0.540)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理および事務手続き等の対価
(販売会社)	(33)	(0.702)	
(受託銀行)	(3)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.044	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.010)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付け られているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(2)	(0.033)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	64	1.340	

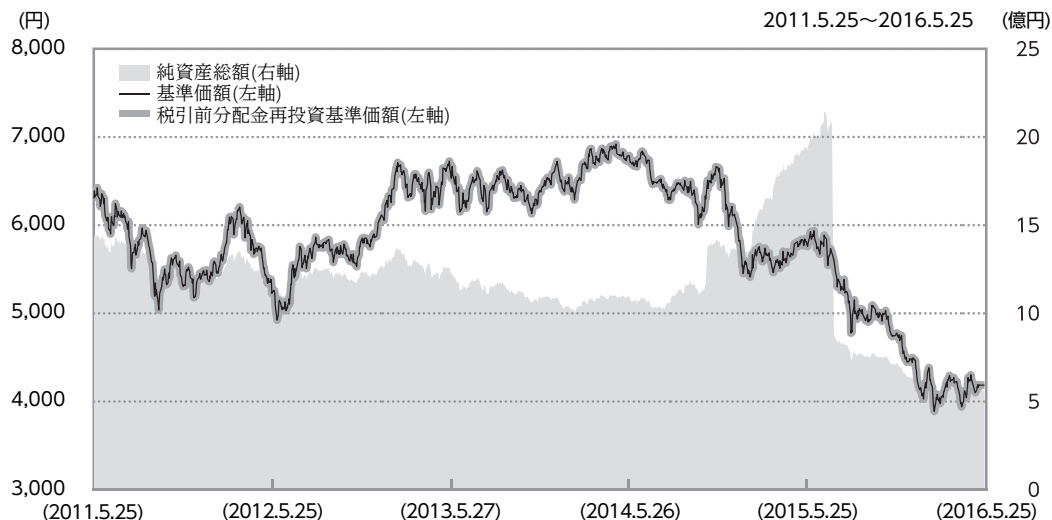
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ニッセイコモディティファンド

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 税引前分配金再投資基準価額は、2011年5月25日の基準価額にあわせて再指数化しています。

決算日		2011年5月25日	2012年5月25日	2013年5月27日	2014年5月26日	2015年5月25日	2016年5月25日
基準価額 (分配前)	(円)	6,299	5,249	6,532	6,789	5,808	4,183.67
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△16.7	24.4	3.9	△14.4	△28.0
参考指数騰落率	(%)	—	△15.4	26.4	5.6	△13.5	△26.2
純資産総額	(百万円)	1,424	1,137	1,222	1,096	1,936	560

(注1) 参考指数はS&P GSCI™ライト商品指数 (円換算ベース) で、ザ・マグローヒル・カンパニーズ社の一部門であるスタンダード&プアーズ (以下S&P) が公表するS&P GSCI™ライト商品指数です。なお円換算の際には、国内の対顧客電信売買相場仲値を使用しています。「スタンダード&プアーズ」、「S&P」、「S&P GSCI™」はザ・マグローヒル・カンパニーズ社の登録商標であり、当社に対して使用許諾が与えられています。当ファンドはS&Pによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、S&Pは当ファンドへの投資適合性について何ら表明するものではありません。なおG S C I (そのサブインデックスを含む) はゴールドマン・サックスまたはその関連会社によって所有・支持・承認されるものではありません。以下同じです。

(注2) 2016年5月25日の基準価額は、償還価額を記載しています。

ニッセイコモディティファンド

設定来の投資環境

■商品（コモディティ）市況

S&P GSCI™ ライト商品指数
(米・ドルベース) の推移



(注) 指数はS & Pのデータを使用しています。

当運用期間のS&P GSCI™ライト商品指数(米・ドルベース)の騰落率は-49.6%となりました。

[上昇要因]

- ・米国のサブプライムローン問題による株式市場の下落などを受けた商品市場への資金流入

[下落要因]

- ・米大手金融機関の破たんなどによる世界的な金融市場の混乱を背景とした商品市場からの資金流出
- ・米国の原油供給量増加
- ・OPEC加盟国による減産見送り
- ・中国の景気減速懸念の高まりを背景とした世界的な原油需要の鈍化観測

■為替市況

米・ドル/円レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

償還時の米・ドル/円レートは110.16円(設定時比で2.10円の米・ドル安円高)となりました。

[上昇要因]

- ・米国の株高や高水準の日米金利差
- ・日銀による追加金融緩和政策

[下落要因]

- ・サブプライムローン問題を発端とする世界的な金融危機を背景としたリスク回避目的の円買い
- ・ギリシャ財政問題に端を発する欧州信用不安を背景としたリスク回避目的の円買い
- ・米国の早期利上げ観測の後退

ニッセイコモディティファンド

ポートフォリオ

■当ファンド

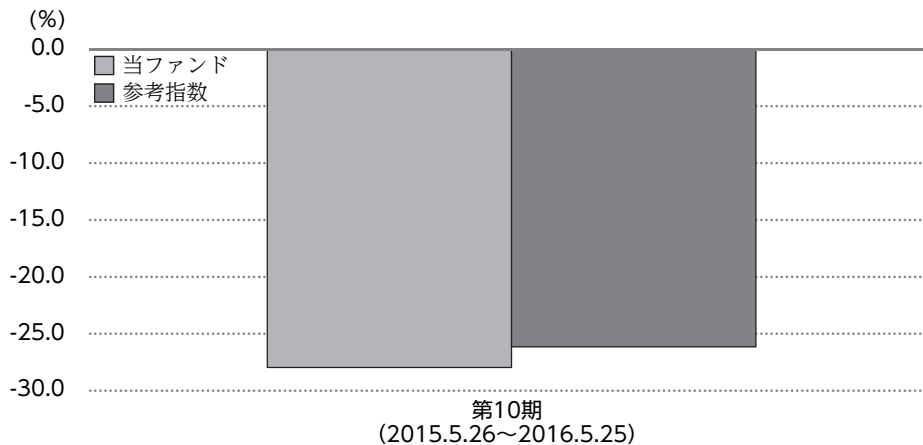
設定・解約に伴う一時的な変動を除き、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました（ただし当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

S&P GSCI™ライト商品指数が表す世界の商品（コモディティ）市況の動きをおおむねとらえる投資成果をめざしました。

バークレイズ・バンク・PLCが発行したS&P GSCI™ライト商品指数の騰落率に償還価格等がおおむね連動する米・ドル建ての証券（商品指数参照債）の組入比率を高位に保ちました。期中、設定・解約に応じて適宜買い増し・売却を行ったほか、償還に向けて全売却を行いました。

参考指数との差異



当期の税引前分配金再投資基準価額の騰落率は-28.0%となり、参考指数騰落率（-26.2%）を下回りました。

これは当ファンドから信託報酬等の費用を控除したことなどによるものです。

ニッセイコモディティファンド

分配金

該当事項はありません。

償還金

1万口当たり償還金 (税引前)	4,183円67銭
-----------------	-----------

ニッセイコモディティファンド

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

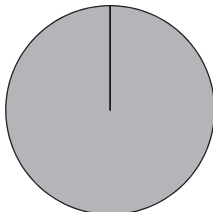
該当事項はありません。

■純資産等

項目	第10期末
	2016年5月25日
純資産総額	560,608,677円
受益権総口数	1,339,993,767口
1万口当たり償還価額	4,183円67銭

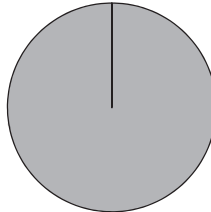
(注) 当期間中における追加設定元本額は577,994,621円、同解約元本額は2,571,332,597円です。

■資産別配分



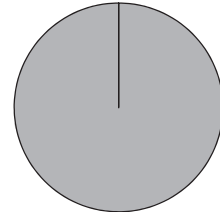
短期金融資産等
100.0%

■国別配分



日本
100.0%

■通貨別配分



円
100.0%

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

ニッセイコモディティファンド

※償還日である2016年5月25日現在、マザーファンドの組み入れはありませんが、ご参考としてマザーファンド償還日における情報を記載しています。

ニッセイコモディティマザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

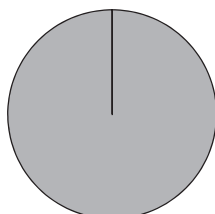
該当事項はありません。

■1万口当たりの費用明細

(2015.5.26~2016.5.24)

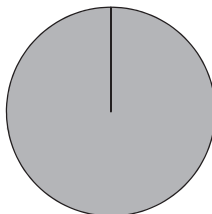
項目	金額
その他費用 (その他)	2円 (2)
合計	2

■資産別配分



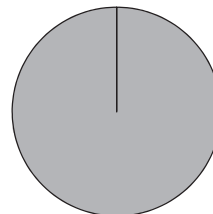
短期金融資産等
100.0%

■国別配分



日本
100.0%

■通貨別配分



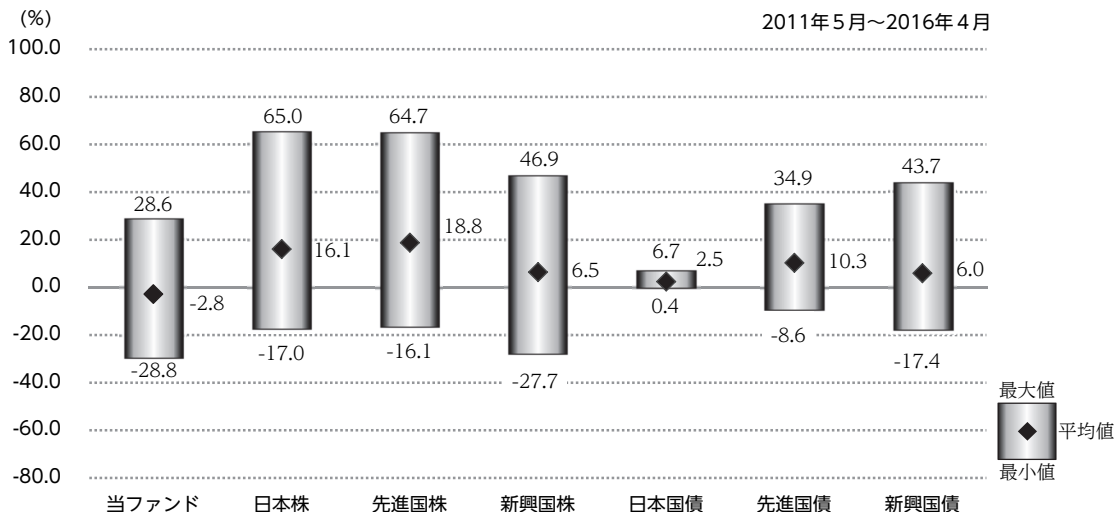
円
100.0%

(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については2ページをご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド償還日(2016年5月24日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、償還日に対応した数値とは異なります。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

- ・TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

お知らせ

■運用体制の変更について

代表取締役社長に赤林富二が就任し、前代表取締役社長 宇治原潔は代表取締役会長に就任しました。
(2016年4月1日)

ニッセイコモディティファンド

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信 託 期 間	2006年5月31日～2016年5月25日	
運 用 方 針	主にニッセイコモディティマザーファンド受益証券への投資を通じて、S&P GSCI™ライト商品指数が表す世界の商品市況の動きをおおむねとらえる投資成果をめざします。	
主要運用対象	ニッセイコモディティ フ ァ ン ド	ニッセイコモディティマザーファンド受益証券
	ニ ッ セ イ コ モ デ ィ テ ィ マ ザ ー フ ァ ン ド	S&P GSCI™ライト商品指数の騰落率に償還価格等がおおむね連動する外貨建ての証券（商品指数参照債等）
運 用 方 法	ニッセイコモディティ フ ァ ン ド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・ 株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ニ ッ セ イ コ モ デ ィ テ ィ マ ザ ー フ ァ ン ド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・ 株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行う方針です。	